

平成31年度
事業実績報告書

申請者の概要

申請者	団体名	摂津市商工会		
	代表者職・氏名	会長 武友 良雄		
	所在地	〒566-0021 大阪府摂津市南千里丘 4番35号3階		
	担当者	職・氏名	事務局長 島内 嘉紀	
		連絡先	電話番号（直通）：	06-6318-2800
F a x：			06-6318-2555	
	E - m a i l：	info@settsu-sci.jp		
①設立年月日		昭和37年6月19日		
②職員数 (うち経営指導員数)		9名 (9名)		
③所管地域		摂津市		
④管内事業所数		4,082 (H28年経済センサス)		
⑤管内小規模事業者数		2806		
⑥会員数(組織率)		1,900 (47.54%)		
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載のこと				
□主な事業概要(定款記載事項等)				
<p>① 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。</p> <p>② 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。</p> <p>③ 商工業に関する調査研究を行うこと。</p> <p>④ 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。</p> <p>⑤ 展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。</p> <p>⑥ 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</p> <p>⑦ 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。</p> <p>⑧ 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</p> <p>⑨ 行政庁等の諮問に応じて答申すること。</p> <p>⑩ 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</p> <p>⑪ 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務(その従業員のための事務を含む)を処理すること。</p> <p>⑫ 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。</p> <p>⑬ 商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。</p> <p>⑭ 輸出品の原産地証明を行うこと。</p> <p>⑮ 前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。</p>				

摂津市商工会

(1) 事業の目標

- ◆経営相談支援事業については、小規模事業者の事業意欲の向上と意識改革を促し、消費者ニーズや地域に根差した商品・サービス提供による持続的発展を目標に事業計画策定など事業者と一緒に支援していくワンストップサービスによる経営力向上のための支援を行う。
- ◆専門相談支援事業については、専門的で高度な問題の解決にむけた専門家による予約制の個別相談を実施し、企業経営の安定化を図るとともに、更なる活用に向けてのPR活動と利用促進に努める。
- ◆地域活性化事業においては、企業の経営の改善と安定に努めることを目的に、事業者間の交流・連携の促進、人材育成などニーズが高いと思われるものや、時代にマッチした情報提供と支援を行うことにより、経営の安定と発展に向けてのチャンスを提供するとともに、課題解決への具体的な取り組みができるよう支援する。また、事業を通じてビジネスチャンスを提供し企業の成長を促す。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

- ◆経営相談支援事業では、自社の強み・弱みが客観的に捉えられない事業者も見られる中で、事業計画策定などを通じて事業者が抱える課題を明確にするとともに、人材・労働力の確保・育成や資金力の向上、販売力強化・市場開拓などの課題解決に取り組んだ。また、高度な支援が必要となる相談については、専門家と連携して支援した。
- ◆専門相談支援事業では、企業が抱える専門的な課題の解決に向けて専門家を活用できるよう、専門相談のPRに努めるとともに、原則として毎月1回の相談日を設けた。また、法律相談など急を要する相談内容がある場合は電話相談などで対応をした。
- ◆地域活性化事業については、摂津市で製造された最終製品を認定して販路開拓を支援する摂津ブランド事業をはじめ、製造業を中心とした高い技術力をもった事業者に対して、事業者間交流・連携を促進するとともに、求人難、後継者難に取り組む人材育成や地域就労を支援する事業を実施した。小売・飲食業については、摂津まちゼミなど個店の魅力を情報発信することで、魅力的な店舗を増やしていくとともに、創業者の新規参入を促進する事業を実施した。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

- ◆経営相談支援事業では、経営革新承認3件、小規模事業者持続化補助金は13件の申請で12件という高い確率で採択され、事業計画作成から資金調達や販路開拓まで多岐にわたる支援をすることで、事業者の課題解決に貢献できた。
- ◆専門相談支援事業では、専門家の活用により専門的で高度な問題の解決に取り組み、企業の健全な経営に寄与できた。
- ◆地域活性化事業ではクラウドファンディングや外国人雇用など事業者の事業継続・変革に必要な情報を提供することで、新たな事業展開に取り組むきっかけを提供するとともに、事業者間交流・連携事業により新たな価値の発見やビジネスチャンスの提供や就労支援交流やマッチング事業により求人難に貢献することができた。摂津ブランド事業では自社の強みを明確にするとともに、事業所と共に地域に根ざした販路開拓に取り組んだ。またスクラッチカードなどの販売促進事業を実施することで、事業者の売上拡大と地域商業の活性化に貢献した。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

- ◆経営相談支援事業では、昨年10月に消費税率が10%に引き上げられた影響や高齢化による事業承継や事業廃止など課題解決が難しい案件が多くなってきている。キャッシュレス決済の導入や軽減税率の事務処理負担について記帳支援で経営負担の軽減を図るとともに、事業承継税制の特例措置を活用して、事業のスムーズな承継を支援する必要がある。また、全体的な支援内容では支援機関・専門家へのつなぎ支援が一番多く、専門家と連携しながら高度で複雑な相談内容に対応してきたが、事業承継やBCP策定支援なども今後増加させていきたい。
- ◆専門相談事業においては、働き方改革の影響で法律と労務相談が多く、解雇トラブルなど緊急的な相談内容が非常に多く、複数回の相談が見られたことから今後の無料相談の回数の見直しも必要となってくる可能性がある。
- ◆地域活性化事業のセミナー関係においては、提供した情報が今後どのような形で活用されるか今後のフォローが課題である。イベント関係については、交流会や販売促進事業により新規の連携先や顧客を獲得のきっかけを提供することができたが、その事業所の魅力などリピーター獲得のための情報発信などの持続的なフォローが課題である。近年続いている地震や台風、新型インフルエンザ感染症など災害リスクの周知とそれに対応できる事業者BCP策定支援をしていくことも必要である。

(5) 来年度への取り組み

- ◆経営相談支援事業では、事業者の課題解決に向けて取り組むとともに、潜在的な課題の掘り起こしと支援の拡充に努めることで、自ら成長するために事業意欲を持って、市場や顧客ニーズなど新たな需要にきめ細かく対応し、地域に根差した商品・サービスや付加価値の高い技術力の提供、人材や技術力を承継できる小規模事業者の増加を目指す。また小規模事業者に対する事業者BCP策定を支援していくとともに新型インフルエンザ感染症による収入減少や事業承継などの課題に積極的に取り組んでいきたい。
- ◆専門相談支援事業では、法務・労務などをはじめ、全ての経営項目で問題を抱えている事業者がもっとあると考えられるので、周知の徹底と活用促進に努め、事業者のニーズに合ったきめ細やかな支援を行うことに努めるとともに、経営相談事業への拡充を図る。
- ◆地域活性化事業では、市行政等と連携し、事業所ニーズの高い情報をタイムリーに提供するとともにビジネスチャンスの提供等を行い、企業経営の安定と発展、地域活性化を目指すとともに、課題解決への具体的な取り組みができるよう支援する。

摂津市商工会

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

市内小規模事業者の抱える課題の解決に向けての提案に取り組むとともに、各種支援機関との連携を図り、事業所が抱える経営課題の中でも、高度・複雑な課題に対応するために専門家を活用し、定期的な相談だけでなく経営者の要望に随時対応できるような体制作りにより小規模事業者の抱える課題を抽出し、専門家のアドバイスによる問題の迅速な解決と経営の改善に役立てた。
 また昨年10月に消費税率が10%に引き上げられ、軽減税率が導入された影響の低減や問題解決のためのノウハウの提供や、専門家、支援機関への紹介を行うなど、ワンストップ的な機能を果たすことにより、企業の経営の安定・発展を目指すとともに、経営革新や事業承継、創業、新事業展開など、高度で専門的な経営課題への対応を迅速に支援することにより、商工会の信頼を高めることができた。

【代表事例】【A企業（製造業）】 「地域ブランド認定による販路開拓」

当該事業所の除菌・消臭剤を医薬部外品に認定するためにはコスト面でハードルが非常に高く、認定を受けることが困難であることがわかりました。商材については、除菌・消臭効果及び安全性については確かなものであることから、「使って頂ければ良い商品であること」を周知するため、まずは市中で周知活動を促進するため摂津ブランド「摂津優品」に認定されることを目指し、令和元年度認定を受けることができました。

摂津ブランド認定後は、経営指導員立会いのもと大阪勧業展への出展、北摂地チカラフェスタへの物販を伴う出展を通じて非常に多くの来場者に摂津ブランド認定商品の周知活動ができました。併せて、摂津市役所に摂津ブランド認定商品を多数寄付するなどの社会貢献活動も行われました。

また、販売促進に伴い得意先の開拓に経営指導員立会いの下、商工会会員の調剤薬局・自動車販売店・事務用品小売業に紹介するなど支援活動を行いました。その結果、摂津ブランド認定前から顧客数は200%増加し、月平均の売り上げについても200%増加しました。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	300	313	104.3%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	158	127	80.4%	5
金融支援（紹介型）	支援数	15	13	86.7%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	26	25	96.2%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	1	100.0%	3
資金繰り計画作成支援	事業所	0	0		—
記帳支援	事業所	41	94	229.3%	5
労務支援	支援数	40	43	107.5%	5
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		—
マーケティング力向上支援	事業所	0	0		—
販路開拓支援	支援数	30	19	63.3%	4
事業計画作成支援	支援数	22	21	95.5%	5
創業支援	事業所	2	2	100.0%	4
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	1	2	200.0%	4
コスト削減計画作成支援	事業所	0	0		—
財務分析支援	事業所	0	0		—
5S支援	事業所	0	0		—
IT化支援	事業所	0	1		3
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		—
事業承継支援	事業所	2	2	100.0%	4
災害時対応支援	事業所	17	17	100.0%	5
結果報告	事業所	300	313	104.3%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

事業所が抱えるさまざまな法律・税務・労務・経営の問題の中でも、高度かつ専門的な課題に対応するために専門家を活用し、定期的な相談だけでなく経営者の要望に随時対応できるような体制作りをし、専門家の具体的なアドバイスにより事業所がかかえる高度な課題を迅速に解決し、企業の経営の改善と経営基盤の強化に役立てることができた。

また、専門的分野の支援から事業所の抱える問題が軽減でき、内容としては満足のいく成果が得られている。例年の傾向としては、法務相談が一番多いが、働き方改革の影響もあり労務相談も増加している。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談支援	継続	回数	9	10	111.1%	5
労務相談支援	継続	回数	6	7	116.7%	5
経営相談支援	継続	回数	5	5	100.0%	5
その他相談支援	継続	回数	2	0	0.0%	—

摂津市商工会

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

◆吹田商工会議所、高槻商工会議所、茨木商工会議所、島本町商工会との5か所の広域で実施した「承継・創業経営者交流事業」では事業を立ち上げる、事業を継続していく為に必要である自社のビジネスをSDGsとポジティブ心理学を活用して見直すとともに、地域に必要な未来の新たなビジネスの創造とネットワークを構築することを目的に4回実施し、53名の参加で研修内容も好評を得た。

◆障がい者求人・求職マッチングフェアは、社会状況に応え、摂津市単独での障がい者就職フェアを実施し、参加企業13社、面接参加者109名と目標数値をクリアし、採用決定者も7名という実績で、障がい者の求人・求職に貢献できた。

◆事業者の支援においては、直接または団体を通じての情報提供等の支援を行うとともに、販売促進イベントとして小規模店舗参加型スクラッチカード事業を195店舗の参加で実施した。また、摂津まちゼミには42店の参加で、夏は子ども向け、冬は一般向けで開催し、参加者のリピーター率も高く、地域密着で営業展開している小規模事業者には非常に効果の高い販路開拓事業となっている。

◆摂津ブランドでは摂津で製造された最終製品を「摂津優品（せっつすぐれもん）」とし新規に3商品を認定し合計11商品となり、大阪勧業展や摂津市ビジネスマッチング交流会等で来場者に対してPRするとともに販路開拓を事業者と共に実施した。

◆外国人雇用セミナーは技能実習生や特定技能制度など増加する外国人労働者の雇入れに関する内容で、36社参加で外国人雇用についてより理解を深めてることができた。

■地域活性化事業全般については、経営力の乏しい中小零細事業所等の従業員や事業主が本セミナー等を受講することにより、営業力を強化したり経営のあり方を見直したり販売力を高めて売上の増加を目指したりするとともに、各種事業・セミナーを通じ、具体例や情報を理解することにより、課題の抽出や問題の解決、経営力の強化等に役立てた。

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
	摂津市ビジネスマッチング交流会	75	72	96.0%	94.9	名刺交換をすることができた事業所数	25	50	200.0%	5
	摂津モクテル	18	28	155.6%	78.5	新規顧客来店or原価率低減につながった	10	15	150.0%	5
○	摂津市地域就労支援交流会	10	9	90.0%	88.8	面接をしてもよいと思う人材が見つかった	0	0	#DIV/0!	4
	摂津ブランド事業	3	3	100.0%	93.3	自社の強みを踏まえて広くPRできた事業所	2	2	100.0%	5
		8	8	100.0%	82.5	認定製品をPRできた事業所	6	7	116.7%	
	小規模店舗参加型スクラッチカード事業	200	195	97.5%	77.3	売上・または集客が増した事業所の割合	50.0	31.2	62.4%	4
	摂津まちゼミ	18	15.5	86.1%	90.0	販売促進に対する意識向上ができた事業所	70	100	142.9%	5
		30	42	140.0%	93.0	販売促進に対する意識向上ができた事業所	70	88	125.7%	
	製造業経営者支援事業	15	15	100.0%	93.0	取り引き、連携などが行われた事業所	60	86	143.3%	5
○	MOBIO常設展示出展支援交流会	8	6	75.0%	60.0	自社を広くPRできたと思う事業所	5	3	60.0%	4
		30	23	76.7%	92.8	交流会がネットワークづくりに役立ったと思う事業所	60.0	92.8	154.7%	
○	障がい者 求人・求職マッチング	10	13	130.0%	86.1	面接者から採用に至った人数の割合	5.0	7.3	146.0%	5
						障がい者就職フェアで企業との面接を行った人	90	109	121.1%	
○	摂津市おしごとフェア	0	0	-	-	参加企業のうち採用に至った企業数	0	0	-	3

(2) 広域事業（幹事事業のみ）

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
○	承継・創業経営者交流研修	40	52.5	131.3%	95.1	事業改善又は新規事業取組に対する意識改革度	80	100	125.0%	5
○	クラウドファンディング活用セミナー	30	31.5	105.0%	93.8	クラウドファンディング活用検討に至った企業数	10	29	290.0%	5
○	人財力強化（人材育成）事業	20	17	85.0%	88.2	セミナーの内容を自社で取り組もうと考えた事業所の割合	70.0	94.1	134.4%	5
○	労働法改正対応セミナー～労務担当者が知っておくべき最新法令～	45	52.5	116.7%	89.5	労務管理の見直しに役立つと思った事業者の割合	70	84	120.0%	5
○	外国人雇用セミナー	30	36.5	121.7%	91.9	外国人の雇用について理解できた事業者の割合	70	87	124.3%	5
○	三市一町合同就職面接会	35	26	74.3%	73.8	参加企業のうち採用に至った企業数	10	5	50.0%	4
						来場者数	100	76	76.0%	

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

摂津市商工会

事業名		摂津市ビジネスマッチング交流会												
想定する実施期間		26 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること												
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	摂津市は、市域の面積の半分以上が工業や準工業地域で、現在、4,000社を上回る事業所が市内で活動する産業都市であるが、従業員が9人未満の事業所が全体の73%を占めており、事業所間の連携を自発的にとっていくのは難しい。そこで、地域総合経済団体である商工会が行政・金融機関等と連携して、ビジネスマッチング交流会を開催することにより、新たな販路開拓及び事業所間の連携、相互の経営力の向上等を図ることを目的とする。												
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内の事業所(全業種)												
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>■開催日時：令和2年 2月5日(水) 16:00~19:00</p> <p>■会場：摂津市立コミュニティプラザ3階コンベンションホール</p> <p>■講演企業：ペプチスター(株)取締役 執行役員 経営企画部長 藤家 新一郎 氏 (株)クロスエフェクト 代表取締役 竹田 正俊 氏</p> <p>■交流会</p> <p>■参加者数：66社81名</p> <p>市内企業の連携・販路開拓につながる機会として、摂津市ビジネスマッチングフェアを摂津市・摂津市商工会・北おおさか信用金庫・大阪彩都総合研究所で開催した。第Ⅰ部では、摂津市に設立された製薬会社が「オールジャパン体制」で世界に挑む次世代の医薬品「特殊ペプチド」や中小企業が「高度なものづくり技術」で挑戦する「医療機器への参入」についての講演会。第Ⅱ部では、自由に名刺交換できる交流会は参加者・講演者も参加し、情報収集や新たな取引につながるきっかけづくりになった。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>												
		①府施策連携												
		②広域連携												
③市町村連携		摂津市、北おおさか信用金庫、(株)大阪彩都総合研究所、摂津市商工会の4者で、企画、参加企業募集、会場設営、当日開催と共同で実施した。												
④相談相乗	交流も目的としているので、近隣の事業所と交流することによって、新たな連携や販路開拓も目指す。また、専門家による相談事業にもつなげる。カルテ化件数6件。													
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	75	支援企業数(実績)	72.0	支援実績率	96.0%	満足度	94.9					
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	摂津市ビジネスマッチングフェアは7回目の開催となり、前回に比べて参加企業数はほぼ同数(昨年度67社)。参加者アンケートでは、59名中29名が「満足」、27名が「ほぼ満足」、2名が「どちらとも言えない」、1名が「やや不満」と回答し、満足度94.9%と概ね良好であった。また参加の目的は「人脈の拡大」が41名で一番多く、次いで「ビジネスパートナーを探す」が22名、「業界の情報収集」が21名、「販路の開拓」が17名、「講演に興味があった」が10名、「知人、友人から勧められて」が3名、「銀行からの紹介」が1名となっている。ビジネス交流会での名刺交換枚数は平均で5枚でマッチングは非常に活発で、「連携をはかれそうな事業者が見つかった」が全体の63%と当初想定していた数字よりも高かった。講演企業についての満足度も高く、2名の平均満足度は91.5%であった。参入が難しいとされる医療業界に中小企業のものづくり技術で参入し、切磋琢磨され事業を拡大されている話に共感した方が多かった。摂津市で唯一のビジネスマッチングフェアとして市内企業同士の交流の場を提供することで、更なる挑戦や連携のキッカケを提供できたが一番の成果である。												
		<p style="text-align: center;">名刺交換をすることができた事業所数</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>数値目標</td> <td>25社</td> <td>実績数値</td> <td>50社</td> <td>目標達成度</td> <td>200%</td> </tr> </table>								数値目標	25社	実績数値	50社	目標達成度
	数値目標	25社	実績数値	50社	目標達成度	200%								
	成果の代表事例	今回は、連携をはかれそうな事業者が見つかった企業36社のうち、連携先が5社見つかったという企業が3社あったことが一番大きな成果となった。連携先を見つけた企業の平均が2.3社であったことを考えると、交流会で北おおさか信金の担当者を中心に積極的にマッチングを勧めた成果である。												
その他目標値の実績	目標値							目標達成度						
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	次回、このようなビジネスマッチングフェアを開催しましたら、参加されますか?という問いに対して、「是非参加したい」が26社、「都合が合えば参加したい」が32社、「参加したくない」が1社であった。(参加企業アンケートより集計)引き続き摂津市内企業同士のマッチングに対するニーズが高いことが伺える。参加者の15%が講演を聞く目的で参加しているので、小規模事業者でも取り組めるニーズの高いテーマを取り上げて、参加者を増やしより交流や取引が活発になるように改善に取り組むとともに、事業者がその後取り組む際のフォローもしていきたい。												

摂津市商工会

事業名		摂津モクテル							
想定する実施期間		30 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	摂津市は狭い市域に鉄道やモノレールの駅が5つもあり、交通の便は良くなっているが、市内商業店舗の知名度が低く、市内外からうまく集客することができていない。中でも人材の採用難による人件費、食材、輸送費の高騰など市内飲食店を取り巻く環境はますます悪化している。また、消費者、特に若者や女性の外食に対する意識やニーズが変化する中で、他店との差別化や利益率向上が課題となっています。そこで、大手飲料会社と連携して、摂津地域限定ミックスドリンク(摂津モクテル：仮称)で市内飲食店のドリンクメニュー改善による販促を提案することで、市内外の新規顧客開拓と							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内の飲食店							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	コカ・コーラボトラーズジャパン(株)と千里丘の飲食店で構成される音千祭実行委員会と連携して実施。 平成31年4月29日(祝) 第18回音千祭 12店舗参加で275杯提供 令和元年9月 飲食店とモクテルメニュー開発、共通モクテルメニュー決定 令和元年10月 16店舗オリジナルモクテルメニュー決定 令和元年11月4日(祝) 第19回音千祭 16店舗参加で194杯提供 令和2年1月新規取扱店舗募集 令和2年3月新型コロナウイルス感染症感染拡大のため 第20回音千祭(令和2年4月29日(祝) 予定) 開催中止を決定 飲食店のドリンクメニューの改善提案をして利益向上につながるような仕組みづくりを提案した。 モクテル注文件数469件(1店あたり平均16.75杯)							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携		②広域連携					
	③市町村連携	摂津市、ことぶき商店街等と調整・協議をしながら、事業を進める。							
	④相談相乗	モクテル導入による販路開拓支援を行った。							
事業の実績/目標達成度	計画に対する	支援企業	18	支援企業	28.0	支援	155.6%	満足度	78.5
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	摂津モクテルの参加店28社中11社が「満足」、6社が「ほぼ満足」、10社が「普通」、1社が「不満」であったが満足度78.5%と概ね良好な結果であった。また、今回参加した成果については、「新規のお客さんに来店していただいた」が15件、「摂津の活性化につながった」が14社、「売上増加につながった」が13件、「お店のPRになった」が11件で、ある程度各店にメリットを提供することができた。今回は値段を250円から500円に値上げしたが、各店舗とも値上げについては特に戸惑いもなく、前回とは違うモクテルを作る店舗からは新しい商品の知識が得られて良かったと前向きな意見や、お客様からおいしいという評価をいただくなど好評であった。							
		新規顧客来店or原価率低減につながった							
		数値目標	10	実績数値	15	目標達成度	150%		
成果の代表事例	参加企業名：men モクテル名：レモンソーダ、摂津ハート、明るく開放的なイタリア料理店。11月4日が初参加であったが、レモンソーダは、甘すぎずさっぱりとした味で、11月に供給されたコカ・コーラボトラーズジャパン株のモクテルボトルは中に入ったレモンが見えるように上手く活用しインスタ映えすることで好評であった。								
その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	地元の音楽イベントである音千祭は年2回開催しており、今まで19回開催しているが、イベント当日は市内外からアーティストのファンを中心に数百名集客しているが、イベント翌日には客数が元に戻ってしまい、お客が定着しない課題を抱えていた。今回モクテルというノンアルコールカクテルを導入することで、従来単価の高いアルコールを注文するお客様メインの集客から、アルコールが飲みづらい昼間や車のお客様など新たな客層を開拓することができ、イベント後のお客様の再来店につながる取り組みで課題を解決を目指した。昨年のモクテル実施以降、各店舗では音千祭の際モクテルを注文したお客さんから、通常の時にも注文を頂いているなど、少しずつ定着してきているといえる。ただ、全店舗共通の「摂津ハート」については、各店舗製法が異なり味が異なることから、統一すべきであるという意見もあった。今後もモクテルのメニューを増やして、モクテルがあるから、摂津の店を選ぶと言われるように、お店・お客様どちらからも支持されるよう取り組みを続けていきたい。 今年度の音千祭は4月・11月ともに開催当日の気温が下がり、上着が必要な気温だったことから飲料の注文が少なくなった。今後は開催時期等を深く検討したい。							

摂津市商工会

事業名		摂津市地域就労支援交流会								
想定する実施期間		28 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	景気が改善される中、少子高齢化も進み中小企業における人材確保は、ますます困難な状況にある。若年無業者、障がい者、一人親家庭の親、中高年齢者など、働く意欲があり、就業を希望しているが、様々な事情で働くことに不安を持つ者に対して、従来の採用形態では、身近な地域の中小企業で働く場を確保することがなかなか難しい状況となっている。そのような中小企業における人材不足の解消を図るためには、企業側の就労希望者に対するニーズと就労希望者側の企業に対するニーズのギャップを解消し、双方歩み寄った人材を職業人として育成し、職場環境を整備し、自社の人材確保策につなげる仕組みが必要である。企業の生産性向上を図るとともに、様々な人材を受け入れて戦力化していくことで、企業の競争力アップと活性化につなげることを目的とする。								
	支援する対象	地域の人材確保に関心がある摂津市内全事業所の事業主および担当者。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	セミナー『人手不足の時代でも収益を上げ続ける企業の地域人財活用術』 開催日時：令和元年11月26日(月) 14:00～15:30 開催場所：摂津市産業支援ルーム 講師：坂本 旭優 内容：1.誰もが知らない人材採用・活用方法 2.今から取り組む人材採用・活用方法 3.90%以上の企業が知らない求人票の書き方 4.面接で求職者に選ばれる方法 5.入社した人材を辞めさせずに戦力にする 参加企業：9社 参加人数：9名 調剤薬局事務講座ガイダンス ※新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ■開催予定：令和2年3月18日(火) 12:00～13:30 ■会場：摂津市産業支援ルーム 調剤薬局・院内に調剤薬局のある病院の採用担当者に来ていただき、調剤薬局事務就業希望者に実際の業務を具体的に説明してもらい、その後別室にて個別に面談してもらい、実際就業面接時には聞きにくいことなどをざっくりと話し合い双方の理解とその後の就労につながるきっかけづくりをしていただく予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が中止となった。								
	a 府施策連携	大阪府就業促進課就業支援グループとの連携、地域における人材採用を考えておられる企業に向けてセミナーを実施。地域において就職を希望する者と中小企業担当者との交流会を通じた双方ミスマッチを解消することによる就業促進。								
	b 市町村連携	地域就労支援センターと連携、地域における人材採用を考えておられる企業へのセミナー周知。地域において就職を希望する者への事業の周知、参加の働きかけなど募集活動を行う。								
	d 相談相乗	参加者へのアンケートや聞き取りから、就職を希望する者のスキル・職場ニーズなどを分析し労務支援など相談事業につなげる。カルテ化4件。								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	10	支援企業数(実績)	9	支援実績率	90.0%	満足度	88.8	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	・セミナー『人手不足の時代でも収益を上げ続ける企業の地域人財活用術』では、参加企業数9社参加人数9名であり、9名中5名が『満足』、4名が『ほぼ満足』であり満足度89%で概ね良好な満足度であった。今後の業務に役立てることができると回答いただいた方も7名おり、中には『さっそく求人票の書き方を実践してみる』とお話いただいた方もおり有効な地域の人材採用・活用を学んでいただくことができた。 ・調剤薬局事務講座交流会 R2.3.18開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。参加企業には開催日に先立って、事業の内容説明を行い、事前打ち合わせを行う中で事業者の現状把握、情報提供をすることができた。事業に興味を持っていただけているので、来年度以降実施の機会があれば参加いただく予定である。また、開催を中止したため、参加企業には、電話、訪問等で相談・支援を行った。								
		指標	面接をしてもよいと思う人材が見つかった							
		数値目標	0	実績数値	0	目標達成度				
	成果の代表事例									
	その他目標値の実績	目標値(計画)	0	目標値(実績)	0	目標達成度				
	就労希望者交流会参加人数									
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					

実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>今回、新型コロナウイルス感染症の影響で計画通りに事業を遂行することができなくなってしまった。実施したセミナー『人手不足の時代でも収益を上げ続ける企業の地域人財活用術』では地域の人材をどのような方法で採用活動を行い有効な人材を雇うかということを学んでいただけた。しかし採用求人企業と就労希望者とが個別に色々な事が聞ける場を設ける準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で調剤薬局事務養成講座自体が中止の運びとなったため開催できなくなってしまった。今後も自然災害など、緊急に事業を中止することの発生も考えられるため、連絡方法、経営指導の対応等を検討していく。</p> <p>また次年度以降には地域における若者・女性・中高年齢者等の求職者の人材確保を積極的に進めてもらうための企業向けセミナーを実施して、採用企業の裾野を広げていくとともに、企業で必要な人材のニーズを収集して、ニーズにあった就労支援事業を展開していく。</p> <p>次年度は採用求人企業と就労希望者との交流会を開けるよう調整していきたい。</p>
------	--	--

摂津市商工会

事業名		摂津ブランド事業								
想定する実施期間		29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	摂津市には約4249の事業所があり、うち小規模事業者は2987社、製造業者は750社となっており（RESAS調べ）、人口1人当たりの製造業事業者数は北摂一を誇るものづくりのまちである。大手企業の下請けの事業者が多く、生産のグローバル化により海外移転が進んでいる実情があり、今後の事業を発展・継続するうえで、下請け100%からの脱却や自社の看板製品開発が必要と感じておられる事業所も多い。 そのために摂津市発の製品についての発掘および効果的なPRが必要であるため、市と共同で摂津ブランドを立ち上げ、摂津市内で作られている製品をブランド化し、効果的なPRにより販路の拡大や新規顧客の獲得等を目指すとともに、市民の郷土愛を育み、地域振興、商工業発展を目指す。初年度である2017年度については、飲食物を除く最終製品（飲食物を除く）をメインとして、認定したが、2018年度については、飲食物については、摂津市特産品である鳥飼なすを使った商品を限定としてを認定の対象とした。								
	支援する対象	摂津市内製造業者等								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	摂津市及び摂津市商工会、ほか有識者により、において、中小企業応援プロジェクト！摂津ブランド認定委員会を立ち上げ、「摂津優品（せっつすぐれもん）」の名称で摂津ブランド製品の募集を行った。 摂津ブランド事業の内容説明等のほか、申請書の記載方法のアドバイス等についても実施。 募集期間：令和元年7月1日（月）～7月31日（水） 認定審査会：令和元年8月20日（火） 認定式：令和元年8月30日（金） 摂津ブランド認定企業の特典として ①展示会等：大阪勧業展 令和元年10月16日～17日（摂津ブランド認定委員会として出展）、摂津の元気なものづくり展inMOB I Oに約1か月出展 その他、産産学ビジネスマッチングフェアにパネル出展、摂津市ビジネスマッチングフェアに出展、摂津まつり出展、ガンバ大阪市民感謝デー等に出席しPRを行った。 ②認定証およびブランド認定ロゴの付与を行った。 ③市ホームページ等から認定製品のPRを行ったほか、パンフレットも作成し、QRコードなどから商品購入が可能となるようにした。 ④市による展示会出展料をはじめとした広報PR費用の補助や個別による経営指導を行った。								
	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>									
		①府施策連携								
	②広域連携									
	③市町村連携	市産業振興課と共同実施事業								
	④相談相乗	他事業においてカルテ化（カルテ件数7件）								
実施結果	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画) ※上ハンズオン、下販路開拓	3	支援企業数(実績)	3	支援実績率	100.0%	満足度	93.3%	
			8		8		100.0%		82.5%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	指標	自社の強みを踏まえて広くPRできた事業所							
		数値目標 ハンズオン	2	実績数値	2	目標達成度	100.0%			
		指標	認定製品をPRできた事業所							
	数値目標 販路開拓	6	実績数値	7	目標達成度	116.7%				
成果の代表事例	(株)Bが認定後、商工会で設置PRをするとともに、積極的なマッチングを行い、大幅な売上増になった。									
その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度	#DIV/O!				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本年度については、関西大学政策創造学部との連携があまりできず、J：COMTV放送などからのPRはできなかった。新たにMOB I O等での出展を行ったものの、若干マンネリ化をしているように感じるため、新たな取り組みを行っていくとともに、これまでB to C商品がメインで合った部分をB to B商品の認定に向けて、取り組んでいきたい。								

摂津市商工会

事業名		小規模店舗参加型スクラッチカード事業										
想定する実施期間		29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること										
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>摂津市内は4249社程度の事業者があり、卸・小売・飲食で1279事業所、サービス関連で555と合計1834社近くが本事業の対象である。(RESAS調べ)</p> <p>市内には商店連合会加盟の商店街が4カ所あるものの、商店街単位でのイベントでは、商店街会員しか参加できない。</p> <p>そこで、摂津市では平成21年度から継続して商品券発行事業を実施。平成27年度には国の事業として開催するものの、商品券事業は費用や労力負担が大きく、また消費者の利用先の大半が大型店に流れてしまっていた。</p> <p>今回、小売業・飲食業・サービス業等の小規模事業者をメインターゲットとし、スクラッチカード事業を行うことで、参加店舗については、消費者とのつながりを強化し、今後の売上増加とリピーターの確保に繋げることを目的とする。</p>										
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内小規模小売業、飲食業、サービス業等										
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>セピィスクラッチ事業(場所:摂津市内各店舗) 日程:令和元年7月10日(土)～8月31日(土) 参加店舗数: 195店舗 スクラッチカードを約7.8万枚発行。195参加店舗に300枚を均等配布。 ※余分に必要な事業所には1000円/100枚で販売。43店舗194セットが購入された。 顧客の購入価格500円ごとにスクラッチカードを1枚進呈。(最大5枚まで) スクラッチカードの当りは300円の買い物券(約1.5万枚)を発行。 昨年は市発行の商品券が当たる企画を行ったが、不評であったため、1000円の当たり券を入れた。 また、はずれ券を利用した特典(すべて参加店舗負担)についても108店舗が参加。</p>										
			<p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>									
			①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	市の協力し、参加店の募集、商店街との調整、広報活動、換金作業等を分担し実施。		④相談相乗	他事業においてカルテ化24件	
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	200	支援企業数(実績)	195	支援実績率	97.5%	満足度	77.3%			
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>本事業を複数年実施して、店舗ごとで販促についての重要性を理解いただける店舗と、自店の魅力のなさ(利用者がいない)をスクラッチのせいにされておられる方、市や商工会で店舗のために行っている事業がしてもらって当たり前の事業所との温度差を感じた。</p> <p>顧客とのコミュニケーションツールとして話のきっかけになるなど、コミュニケーションツールとして利用いただいている部分が大きく感じた。店舗については努力なしで結果が出ないことを理解している店舗と努力や負担もなく魔法のように顧客が増えるようなものを求められている店舗が多いことも感じた。</p>										
			指標	売上・または集客が増した事業所の割合								
			数値目標	50.0%	実績数値	31.2%	目標達成度	62.4%				
	成果の代表事例	<p>正雀本町商店街で営業しているA商店においては、新規顧客獲得に繋がったほか、スクラッチの換金枚数@1000×4+@300×375枚=116,500円と、小規模な店舗としては非常に多くのお客様の利用があった。</p>										
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度							
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>アンケートのとり方が悪かったせいか、売上や集客に繋がっているにもかかわらず回答いただけてない部分も多く感じた。(アンケート未回答も非常に多く38件あった)</p> <p>今回の本事業の実施時期については、消費増税に伴う商品券の販売というイベントと実施時期が重ならないように前倒しを行って開催したため、7～8月の実施となった。</p> <p>主な変更点として、あたりについては従来の300円券のほか、昨年実施したスタンプラリー形式は、わかり難いうえ、説明が面倒くさいなど、参加店からのクレームが多く、非常に不評であったため、1000円券を発行するに至った。</p> <p>ただ、景品を希望されるお店の方も複数おられるため、次年度以降の課題としたい。</p>										

摂津市商工会

事業名		摂津まちゼミ（摂津市商業活性化事業）							
想定する実施期間		27 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 <small>（現状や課題をどのような状態にしたいか）</small>	摂津市は、まちゼミの主な対象となる卸・小売、飲食・サービス業など1834件ある。RESAS調べ（それ以外にも対象となる事業所は多岐に渡る。） 摂津市内の商業の現状としては、市商連加盟の商店街4組織しか無く、商店街以外の商業者が市内に広範囲に点在しているのが特徴である。市内の各小規模商業者が売上拡大および事業を継続していくためには新規顧客の獲得と、リピーターの確保が必須である。「まちゼミ」事業は商店街イベントとは違い、点在する個々の店舗でも参加が可能であるため、本市の商業等の状況にあった事業である。また、ネット通販や大型店には価格や品ぞろえで対抗が不可な小規模事業者については、まちゼミのコミュニケーションの中から「この人から買いたい」「この人から買ったら安心」と消費者に思ってもらえる「人でモノを売る」ことが可能となるとともに、消費者のニーズを聞き取る機会となるイベントであり、個店の活性化により店舗力のアップだけでなく、周辺地域の活性化に繋げることを目的とする。							
	支援する対象	摂津市内の商店街および摂津市内点在する1834事業所以上。主に小売及びサービス業など。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	交流会形式セミナー（場所：摂津市商工会） 日時：令和元年10月24日（火）19：00～21：00 内容：まちゼミ交流会研修 講師：岡崎まちゼミの会 代表 松井洋一郎氏 参加者：15社（16名）+他県3名 摂津まちゼミ（場所：摂津市内各店舗） 日程：令和2年2月1日（月）～29日（土） 参加数：26社の27講座 ※コロナウィルスによる未実施1 参加顧客数：239人組 グループクーポン：22社 まちゼミ参加者に限定クーポンを発行まちゼミ実施期間+1か月の利用期間を設けて実施。 kids&親子まちゼミ 日程：令和元年7月22日（月）～8月25日（日） 参加数：16社の17講座 参加顧客数：186組							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	市の後援を得て、小中学校配布を行った。							
	④相談相乗	他事業においてカルテ化（カルテ件数7件）							
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数（計画） ※上セミナー、下まちゼミ実施	18	支援企業数（実績）	15.5	支援実績率	86.1%	満足度	90%
			30		42		140%		93%
	目標の達成度 <small>（支援企業をどう変化させることができたか）</small>	指標	販売促進に対する意識向上ができた事業所						
		数値目標セミナー	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%		
		数値目標まちゼミ	70%	実績数値	88%	目標達成度	125.7%		
	成果の代表事例	Aにて通りすがりの方や普段年齢層が高いにもかかわらず、若い方の4名参加があった。Bにおいて、気になっていただけと入りずらかったお客様の来店があった。Cにおいてリピーターになり作りたい作品の相談を受けている。Dにおいて、経営者の方々と顔合わせができ、話す事で身近に感じより関心を持って助け合える力をもらった。Eよりコラボレーションすることで、自分だけでは思いつかないことが簡単にできたり、営業目的でなくても自然と購入意欲を促進できたが不思議なくらいでした。今までにない楽しみ方ができたこと、お客様の満足度が前回までが90%だとすると、今回は150%くらいに感じ、またコラボ企画をしたいと思った。							
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み <small>（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）</small>	事業としては今までの販促イベントとしては非常に大きい効果があるものの、手間暇と費用が非常にかかる事業である。ただ、現状の商業施策では、これしかないと言える状況であり、今後についても継続していきたい。今回まちゼミクーポンを実施したが、効果は現状では不明な部分があり、5～6月に交流会による情報交換会を実施し、クーポンの継続および新企画の検討を行いたい。また、例年2月実施であるが、コロナウィルスやインフルエンザの流行期であり、実施時期が適当であるかの判断をする必要がある。							

摂津市商工会

事業名		製造業経営者支援事業							
想定する実施期間		20 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	摂津市内の製造業は750社ある。(RESAS調べ)また、人口1人当たりの製造業事業所数が北摂一を誇るものづくりのまちである。 ただ、製造業の経営者にとって、製造業者の集まりでの交流などによる情報交換や協力事業を実施する機会が少ない。そこで、参加者主導による研修事業の検討や展示会への出展、他団体との交流などをとおして、取引や横のつながり、情報交換・意識改革などを行うことにより、今後さまざまな形で経営に役立てることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内製造業を中心とした750社							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>4月～3月の間で、19時ころより摂津市商工会館をメインの場所として横のつながりや情報交換を行うための会を6回その日に議長担当者が議題を決定し開催。会議の他に摂津まつりを2日、摂津まるごとマーケットへ1日、参加者については15名。</p> <p>①令和元年5月9日(木) 会議：社員とのコミュニケーションの取り方について、こどもフェスティバルの実施に向けて他 ②令和元年7月11日(木) 会議：決算書の分析手法について、摂津まつり役割分担、ものづくり企業展募集について他 ③令和元年9月12日(木) 会議：自社での日常会話の使い方について他 ④令和元年11月7日(木) 会議：経営者としての心がまえについて、他 ⑤令和2年1月9日(木) 会議：採用の問題について、代表者の業務を従業員に任せる技術について他 ⑥令和2年3月12日(木) 会議：コロナ感染予防策対策のため中止</p> <p>令和元年5月12日(日) イベント：こどもフェスティバル 令和元年8月3日(土)～4日(日) イベント：摂津まつり当日</p>							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
	②広域連携								
	③市町村連携	市主催イベントへの出展等を行った。							
	④相談相乗	参加した事業所の中でカルテ化されている件数(2件)							
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15	支援企業数(実績)	15	支援実績率	100.0%	満足度	93.0
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	会議において、各自自社をモチーフにしたテーマを挙げて討論会を行った。製造業者目線だけでなく商業者目線を養うため、ものづくりに発想を活かすため、地域貢献のため、こどもフェスバル、摂津まつりに出展して販売業務を学んだ。また、参加企業の内1社が大坂勧業展に出展。販促活動を行った。地元の星翔高校のインターンシップを2社が受け入れ、若者の現状や考え方を参考いただいた。							
		指標	取り引き、連携などが行われた事業所						
		数値目標	60%	実績数値	86%	目標達成度	143.3%		
	成果の代表事例	会議と交流の大きな成果としては、経営者が悩む従業員との関わり方について等について討論を行い各社の対応方法を発表し、自社に活かす等成果としてあがっている。また、会議等をおして業界の業況や、海外展開事例、人材や雇用、展示会や補助金等の情報交換ができ、仕事内容の周知や人間関係構築にも寄与している。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	事業内容としては、ますますの内容の事業を行えたと感じているが、さらに多くの企業に参加していただきたく周知していきたい。 今後も他の地域活性化事業をはじめ、研修会や他団体等との交流会、人材面や補助金等各種施策の紹介、さまざまな面からのサポートを行っていきたい。							

摂津市商工会

事業名		MOBIO常設展示出展支援交流会								
想定する実施期間		2019年度～2019年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	摂津市内の製造業は750社ある。(RESAS調べ)また、人口1人当たりの製造業事業所数が北摂一を誇るものづくりのまちである。 摂津市内には優れた技術力や製品力をもった事業所が多数存在するものの、広くPRできる場所が少ない状態であり、MOBIOの常設展示場へ企画展として1か月間製品等を展示することにより自社を広くPRしていただく。また、プレゼンを行うことにより、自社のPRができるとともに、終了後の交流会により、取引拡大や企業間連携を模索してもらう。								
	支援する対象	市内製造業を中心とした750社およびMOBIOの利用者を始めとした大阪府内の製造業者等。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	摂津の元気なものづくり企業展inMOBIO 企業展示：令和元年10月3日(木)～28日(月) 摂津市内企業6社および摂津ブランド認定企業によるプレゼンを行う。 交流会：令和元年10月3日(木)18:00～20:00 MOBIOカフェをプレゼン終了後に実施。 33名(総勢58名※カウント不可含む)の参加のもと実施された。 交流会終了後、アンケートの回収が難しく、23名分しか回収できなかった。								
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	市(事務手続き等) 商工会(プレゼン企業発掘等)		④相談相乗	他事業においてカルテ化(カルテ件数7件)
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画) ※上：販路開拓、下交流会参加者	8	支援企業数(実績)	6	支援実績率	75.0%	満足度	60.0%	
			30		23		76.7%			92.8%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	出展事業者と、交流会参加者との満足度の差が大きく感じられる。 交流会は結構盛り上がっていた感はあるが、常設展示の部分における満足度が低く感じられる。								
		指標	自社を広くPRできたと思う事業所							
		数値目標 販路開拓	5社	実績数値	3社	目標達成度	60.0%			
		指標	交流会がネットワークづくりに役立ったと思う事業所							
		数値目標 交流会	60%	実績数値	92.8%	目標達成度	154.7%			
成果の代表事例	Aにおいて、今回の出展により、問合せが複数あった。今後に繋がる可能性ありとの報告を受けるとともに、本事業実施後、MOBIOの別事業での発表者になっておられた。販路開拓についての意識づけはできてきている。									
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本年度で初のMOBIOでの展示会であったが、常設展示での名刺があまり無かった。あまり効果が無いという事業所が多かったのが気になっている点で、次年度実施時には、出展者の人数や効果の面における対策が必要と考えられる。								

摂津市商工会

事業名		障がい者 求人・求職マッチング							
想定する実施期間		16 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	障がい者は採用募集企業とのマッチングの機会が少なく、また限られる状況のため、その機会を提供し市内中小企業への雇用確保と障がいを持った求職者の雇用促進を図ることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内事業者と障がいを持った求職者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和元年9月6日(金)13時～16時 摂津市立コミュニティプラザにて開催。 参加者数 77名 面接応募総数 109名 参加企業数 13社 求人企業との就職面接会 雇用・就労・職業訓練・生活相談会、職業訓練相談会を実施 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携	大阪府総合労働事務所、就業促進課等との連携して、協議、広報、会場設営、当日開催等を共に取り組む。							
	②広域連携								
③市町村連携	摂津市、ハローワーク等と調整・協議をしながら、求人企業募集、会場設営、当日開催など役割を決めて進める。								
④相談相乗									
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	10	支援企業数(実績)	13	支援実績率	130.0%	満足度	86.1
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	事業者、求職者からのニーズは非常に高い事業であるため、参加事業者は前回の11社から13社へ増加した(会場の規模的限界)。また昨年度より取り入れた面接前に全社から1分間自己紹介スピーチを行ってもらい取り組みも好評であった。来場者数は94名から77名へと減少したが盛況であった。内容も多く事業者が、「満足」又は「やや満足」と回答され採用活動の一環として大いに活用・満足して頂けたと思われる。(満足度は企業アンケートより集計、5段階評価で数値化、「満足」100%・「やや満足」80%・「普通」60%・「やや不満」40%・「不満」20%で計算。)							
		指標	面接者から採用に至った人数の割合						
		数値目標	5%	実績数値	7%	目標達成度	146.0%		
	成果の代表事例	面接応募総数は109名で、そのうち8名が今回のフェアで採用となった。企業数でいくと5社である。中でも、㈱ダイキンサンライズ摂津は募集が事務職4人、機械電気加工部品組立工9人の合計13人募集に対して応募が7人であったが、採用が4人となり、上手くこのフェアを活用して頂けた事例である。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	90人	目標値(実績)	109人	目標達成度	121.1%			
	障がい者就職フェアで企業との面接を行った人								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	来場者数は94名から77名へと減少したため求職者に対する広報を検討したい。また法定雇用率改正の影響、企業の社会的責任から出展企業は出てきているが、中小・零細まではとても普及していないので、今後も募集する際に周知して、少しでも採用に前向きな企業を増やしていきたい。							

摂津市商工会

事業名		摂津市おしごとフェア					
想定する実施期間		31 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること					
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	働く意欲がありながら、就労を実現できない方のために、摂津市、ハローワーク茨木、大阪府総合労働事務所、摂津市商工会で開催します。大企業よりも中小零細企業は雇用の確保が問題であり摂津市商工会でも、おおむね正社員求人を対象とした3市1町合同就職面接会、障がい者求人を対象とした障がい者求職マッチングを既に実施しています。そこで本フェアは事務職、軽作業をメイン職種として企画します(求職者はおおむね女性、シニア向け、しかし限定ではない)。平成30年の配偶者控除・配偶者特別控除の税制改正等により働き方が多様化し、それに伴う就業ニーズが発生する可能性は十分あります。また、労働力人口における65歳以上の割合は毎年増加しており、それらに対応した雇用、就業機会のため、お仕事お役立ちセミナー、就労相談、創業相談、就職説明会・面接会等を同時開催します。					
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、10社程の中小企業及び来場者数30名。					
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	平成32年3月5日(木)13時～15時30分 摂津市産業支援ルームにて開催予定であった。 参加企業数 7社予定 同時開催(VRTカード診断、初めての起業相談、ハローワーク出張お仕事・職業訓練相談)					
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 大阪府総合労働事務所等との連携して、協議、広報、会場設営、当日開催等を共に取り組む。 ②広域連携 ③市町村連携 摂津市、ハローワーク等と調整・協議をしながら、求人企業募集、会場設営、当日開催など役割を決めて進める。 ④相談相乗					
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	0	支援企業数(実績)	0	支援実績率	満足度
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	参加予定企業 ①株R(介護職員) ②株S(配送システム管理業務) ③N(高齢者の家事お手伝い) ④株S(営業、技術職) ⑤社会福祉法人 S(事務、調理、訪問介護ヘルパー) ⑥医療法人I(医療事務、調理、清掃) ⑦株I(事務、映像編集デザイナー)					
		指標	参加企業のうち採用に至った企業数				
		数値目標	0社	実績数値	0社	目標達成度	
	成果の代表事例						
その他目標値の実績	目標値(計画)	0人	目標値(実績)	0人	目標達成度		
	来場者(来場された方へのアンケートなどで把握)						
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加企業を集め、一般求職者向けに新聞折り込み広告を行っていた。ハローワークにも求職の問い合わせが多数あり、大勢の参加が期待されていたが、新型コロナウイルスにより中止。					

摂津市商工会

事業名		承継・創業経営者交流研修							
想定する実施期間		23 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	事業承継者や創業者は、様々な問題を乗り越える為の知識や解決力が十分には備わっておらず、経営がうまくいっていないケースが多い。創業ないしは事業を承継して1～5年くらいの経営者に、新しい革新的な発想で経営の方向性を変えていく経営課題に共に取り組むことで、自社の課題と問題点を発見し、広域による企業同士で知的・人的ネットワークを広げ、改めて自社のあるべき方向性を検討することを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪三島地域に属する全業種事業所市内事業所の経営者、創業期(創業1年から5年)安定期、安定下降期、下降期等の企業のライフサイクルに入っている企業経営者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>■開催日時：第1回 令和元年 5月23日(木) 19:00～21:00 第2回 令和元年 6月25日(木) 10:00～12:00 第3回 令和元年 7月26日(金) 14:00～16:00 第4回 令和元年10月 9日(水) 13:00～14:30</p> <p>■会場：第1～3回 摂津市商工会、第4回 大阪人間科学大学</p> <p>■講師：特定非営利法人Mブリッジ 代表理事 米山 哲司 氏</p> <p>■テーマ：SDGsとポジティブ心理学で創る！社会から必要とされる社員もワクワクするビジネス</p> <p>■事業内容：SDGsとポジティブ心理学の視点から街の課題や自分のワクワク、仕事の強みから未来から必要とされる私だけのビジネスを参加者と一緒に創るグループワーク。</p> <p>■参加者数：53名 内訳：第1回 10事業所10名、第2回 15事業所15名、第3回 11事業所11名、第4回 23事業所23名、学生18名)</p>							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府経営支援課経営支援グループとの連携、事業承継への気づき、きっかけづくりから後継者の育成や後継者へ新事業展開促進のためのワークショップを実施することで、事業承継が必要な事業者の掘り起こしと事業者、後継者からの相談対応の促進。						
		②広域連携	摂津市商工会が幹事で、高槻商工会議所、茨木商工会議所、吹田商工会議所、島本町商工会にて受講者を募集。全4回開催運営は摂津市商工会が担当。茨木商工会議所も当日参加。交流会も毎回終了後40分程度開催して、事例経営者やグループ以外の参加者とも交流が図れるようにした。						
	③市町村連携	摂津市が創業支援事業計画の認定受けており、創業セミナーとも連携							
	④相談相乗	交流も目的としているので、近隣の事業所と交流することによって、新たな連携や販路開拓も目指す。また、専門家による相談事業にもつなげる。カルテ化件数1件。							
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40	支援企業数(実績)	52.5	支援実績率	131.3%	満足度	95.1
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	支援企業数の内訳は、高槻4社、茨木4社、吹田3社、島本0社、摂津7社、その他23社であった。今回のセミナーの受講者アンケートでは、全4回で、延べ53名中42名が「満足」、9名が「やや満足」で「どちらとも言えない」が2名で「やや不満」「不満」はゼロで、満足度95.1%とかなり高い満足度となった。また、研修会の内容が理解できましたかという問いに対して、「理解できた」が20名、「どちらかといえば理解できた」が12名で参加者のほとんどが内容を理解しており、講師の説明も分かりやすかった。そして、今後の事業拡大に活用しようと思いますがという設問に対し、「活用していきたい」が24名、「活用を検討したい」が13名と参加者全員が今後の活用に意欲を見せている。本セミナーはSDGsとポジティブ心理学の視点から自分の強みや地域の課題を明確にし、自社のミライのビジネスを構築すること、グループワークで参加者からの視点で提案してもらうことで、自分では見えない可能性を発見して、共有・共感することで、お互い事業で連携できる事や新たな事業に気づききっかけ作りになったと思う。第4回には同じ企業から親子で参加してもらって、先代が思い描いている今後の経営と息子さんがしようとしているビジネスモデルのギャップに気づいて参考にすることで、今後の事業承継の一助としてもらった。							
		指標	事業改善又は新規事業取組に対する意識改革度						
		数値目標	80%	実績数値	100%	目標達成度	125.0%		
	成果の代表事例	受講企業名：S社 本交流会参加をきっかけに7～8月開催の摂津キッズまちゼミ、9月開催の茨木手づくり市に出店して販路拡大をするとともに、他事業者とのネットワークを広げることで、新たな事業展開につながった。							
その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	SDGsは大企業が中心になって取り組んでいるイメージがあるが、地域の将来と密接に関係している小規模事業者にこそ活用すべき視点だと感じた。SDGsの視点から自社のビジネスを見直してもらい、未来から必要とされるビジネスを創りだすことで、地域から本当に必要とされるビジネス展開ができるようになる。参加者は起業者・承継者・就職活動を控えた学生など立場や企業規模が違など多様な中で本セミナーの参加者が求める本質は一緒だと感じました。課題は集客でできるだけ多くの方に参加してもらえようテーマを設定していきたいと思います。							

摂津市商工会

事業名		クラウドファンディング活用セミナー							
想定する実施期間		23 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	中小企業や個人事業者が新たな商品開発や新事業展開時、また社会的課題やニッチな市場に対する新サービス展開時に金融機関から資金調達する場合、既存事業の決算内容による可能範囲額の融資しか受けることができず、経営余力のある事業所でないとなりと取り組みが難しい現状にある。 新たな資金調達手段となるクラウドファンディングは不特定多数の個人から少額の出資を募ることができるため、この資金面での課題解消に有効である。その一方で、クラウドファンディングで出資を募るためには、出資者である個人にSNSなどを通じていかに共感や興味をもたれるような商品や事業を展開するかが非常に重要になる。そこで、普及・啓発セミナーを開催し、手法を学んでもらうとともに、クラウドファンディングによって、社会の課題に対する必要度やニーズを事前にマーケティングすることができるツールとしても活用を							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津、茨木、高槻、吹田、島本および周辺地域の全事業所の事業主および担当者。 創業者及び創業予定者。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>知らなきゃ損する！あなたにもできる！実践クラウドファンディング！クラウドファンディング活用セミナー</p> <p>■開催日時：令和2年 2月6日(金) 10:00~12:00</p> <p>■会場：摂津市産業支援ルーム</p> <p>■講師：一般社団法人 ビジネス共創協会 代表理事 山之内 敦 氏</p> <p>■内容：アンケート クラウドファンディングの基礎 プラットフォームの選び方 クラウドファンディングは資金調達ではない！？ クラウドファンディングの始め方 クラウドファンディングのコツ 実例紹介 グループワーク</p> <p>■個別相談 2件 2/6(木) 3件、2/14(金) 2件</p> <p>■参加者数：31事業所32名</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <p>①府施策連携 大阪府商業・サービス産業課新事業創造グループとの連携、メルマガ等でPRしていただいた。</p> <p>②広域連携 摂津市商工会が幹事で、高槻商工会議所、茨木商工会議所、吹田商工会議所、島本町商工会にて受講者を募集。開催当日において、各所担当者が協力して運営を行った。</p> <p>③市町村連携 摂津市、摂津市男女共同参画センターに摂津市広報等で創業者、創業希望者に周知をしていただいた。</p> <p>④相談相乗 交流も目的としているので、グループワークで近隣の事業所と交流することによって、新たな連携や販路開拓も目指す。また、専門家による相談事業にもつなげる。カルテ化件数5件。</p>							
	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	31.5	支援実績率	105.0%	満足度	93.8
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	支援企業数の内訳は、高槻1社、茨木3社、吹田2社、島本1社、摂津2社、その他22社で参加者の1/2が企業で1/2が創業または創業希望者であった。今回の受講者アンケートでは、回答があった32名中22名が「満足」、10名が「やや満足」と回答し、「どちらとも言えない」「やや不満」「不満」はなく満足度93.75%であった。また、研修会の内容が理解できましたかという問いに対して、「理解できた」が24名、「どちらかといえば理解できた」が8名、「どちらかといえば理解できなかった」「理解できなかった」はなく、100%が大体理解できており、講師の説明も分かりやすかった。そして、今後の事業拡大に活用しようと思えますがという設問に対し、「活用していきたい」が15名、「活用を検討したい」が14名、「活用しない」が1名、「未回答」が2名と90.7%が活用に興味を見せている。本セミナーは小規模事業者や学生が挑戦した実際のクラウドファンディングのプロジェクト話を直に聞いて、グループワークでアイデアを出し合うことで、自身や自社のビジネスにどのように活用するか具体的にイメージしてもらい、活用検討に至るファーストステップとなったと思われる。							
	成果の代表事例	<p>受講企業名：M社</p> <p>栽培した生花をレジンをういて加工するフラワーアクセサリーを作成している。造花では表現できない本物の生花のみずみずしさそのままのフラワーアクセサリーは、大手の百貨店やCreemaなどで取り扱われるほどの人気で海外からも需要がある。今後の海外展開を見据えクラウドファンディングへの挑戦を真剣に検討している。</p>							
その他目標値の実績	指標	参加企業のうちクラウドファンディング活用検討に至った企業数						目標達成度	
	数値目標	10	実績数値	29	目標達成度	290.0%			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	クラウドファンディングは、国の補助金の加点要件になるなど、ブランド力のない小規模事業者でも自らができるマーケティングや販路開拓の手段としての役割の方が重要になってきている。ただし、実際に小規模事業者がプロジェクトを成功させるのはきめ細やかなノウハウも必要となるので、今回のセミナー講師のようなクラウドファンディング支援事業者を利用することで、小規模事業者や創業者のプロジェクト達成をより高い精度にできるように、今後もセミナーで最新の情報や有益な活用方法を提供して進めていき、検討する企業を一社でも多く出していきたい。							

摂津市商工会

事業名		人財力強化（人材育成）セミナー																																							
想定する実施期間		25 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>今後の小規模事業者の成長を支える上で、人財（従業員は会社の財産）力の強化や活躍の場づくりが今後最も重要だと考えられる。とりわけ小規模事業者については、摂津市全体約4249事業所のうち2978事業所と全体の70%を占めており、茨木市全体で9132事業所のうち5889社と全体の64%を占めている。（経済センサス調べ）</p> <p>現状で、業種を問わず従業員の雇用及び雇用維持が問題となっており、これらの小規模事業所については、人材募集しても応募が無い「人材不足」、雇ったとしても続かない「育成力不足」の問題が顕著となっている。このため本セミナーをとおし事業主・管理職・従業員を中心とした支援を行い、安定した雇用確保と定着による業績向上をめざしてもらおう。また雇用機会の創出として「OSAKAしごとフィールド」の企業向け支援事業の紹介を実施することで小規模事業者の人材確保と育成を支援する。</p>																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市・茨木市の各事業所および周辺事業所の事業主および従業員																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>日時：令和2年3月2日（月）18：30～20：30 場所：摂津市商工会 講師：小倉広氏（株）小倉広事務所代表取締役 内容：任せる技術「わかっているようで、わかっていないリーダーの基本」 参加社数：17社（17名）※応募数22名</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">おおさかしごとフィールドの紹介および利用促進を行った。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7">茨木商工会議所と連携（募集活動・当日の準備・片づけ作業）</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7">市産業振興課窓口において、セミナーチラシを配布</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7">他事業においてカルテ化（カルテ件数5件）</td> </tr> </table>								①府施策連携	おおさかしごとフィールドの紹介および利用促進を行った。							②広域連携	茨木商工会議所と連携（募集活動・当日の準備・片づけ作業）							③市町村連携	市産業振興課窓口において、セミナーチラシを配布							④相談相乗	他事業においてカルテ化（カルテ件数5件）						
	①府施策連携	おおさかしごとフィールドの紹介および利用促進を行った。																																							
	②広域連携	茨木商工会議所と連携（募集活動・当日の準備・片づけ作業）																																							
③市町村連携	市産業振興課窓口において、セミナーチラシを配布																																								
④相談相乗	他事業においてカルテ化（カルテ件数5件）																																								
計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	17	支援実績率	85.0%	満足度	88.2%																																	
事業の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>事業主やリーダー的役割を担っておられる参加者において、売り手市場のこの時代に、人を雇い継続させるノウハウを理解いただけたとともに、他社の状況や情報交換ができた。このセミナーを自社で役立てたようと思った方の割合が非常に高く、自社へのフィードバックがかなりの割合で期待できると感じた。</p> <table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td colspan="7">セミナーの内容を自社で取り組もうと考えた事業所の割合</td> </tr> <tr> <td>数値目標</td> <td>70.0%</td> <td>実績数値</td> <td>94.1%</td> <td>目標達成度</td> <td colspan="3">134.4%</td> </tr> </table>								指標	セミナーの内容を自社で取り組もうと考えた事業所の割合							数値目標	70.0%	実績数値	94.1%	目標達成度	134.4%																		
	指標	セミナーの内容を自社で取り組もうと考えた事業所の割合																																							
	数値目標	70.0%	実績数値	94.1%	目標達成度	134.4%																																			
成果の代表事例	<p>(株)Kにおいて1on1を実践したいとの相談があった。 今後、実施にあたって支援していきたい。</p>																																								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																																				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするか)	<p>人材育成については、どの事業所も悩んでおられる状況はうかがえる。時代にあった人材育成方法を模索し、開催する必要があると感じる。 今回のセミナーを通じて、経営者や管理者向けだけでなく、従業員のモチベーションの向上や意識改革に対応した内容も検討すべきと感じた。 今回は、コロナの影響下で強行開催となったため、人数減につながってしまった。</p>																																							

摂津市商工会

事業名		労働法改正セミナー～労務担当者が知っておくべきこと～							
想定する実施期間		31 年度～ 31 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	2019年より働き方改革関連法に基づいた各種措置が必要となります。具体的には残業時間の年間360時間以内の義務化、年次有給休暇の年間5日以上取得義務付けなどです。中小企業では特に有給休暇制度は法令知識が疎く注意が必要です。それ以外にも、中小企業では特に採用確保が厳しい等の問題も直面しています。労務管理ができていない企業は求職者、働き手に選ばれません。それらに対応するために基本的な労務管理や労働保険、社会保険、労働契約等の手続き関係の最新の知識を取り入れる必要があります。そこで本セミナーを実施することにより基礎的な知識から、最新の情報までのアップデートと対応法を習得し、さらに、使えそうな最新の助成金の活用まで紹介することにより、労働環境の整備だけでなく、労働者のモチベーション向上の実現を目指すとともに、経営を労務面から安定させることができるようになることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	小規模事業者の事業主並びに人事・労務担当者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>日時：令和元年8月27日(火)・9月3日(火)・9月10日(火) 14:00~17:00</p> <p>場所：摂津市商工会</p> <p>講師：高田 崇一氏(社会保険労務士)・烏野 茂孝氏(社会保険労務士)</p> <p>内容：テーマを「雇用保険・社会保険(適用編)」「雇用保険・社会保険(給付編)」「最新の法改正・労務トピックス」に分けて開催する。3回のセミナーで従業員管理の基礎的な手続きから今年度の法改正の重要項目である「働き方改革」の紹介、実務の対応方法の提案までを行う。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
	①府施策連携	大阪府総合労働事務所等との連携して、セミナーを実施する。							
	②広域連携	「摂津市商工会」と「茨木商工会議所」で連携をとる。各テーマによって講師は茨木と摂津でそれぞれ選定する。							
③市町村連携									
④相談事業相乗	セミナー終了後に監督署の是正勧告への対応方法等の相談を受ける。カルテ化3件。								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	45	支援企業数(実績)	52.5	支援実績率	116.7%	満足度	89.5
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>労働保険、社会保険の基本的な手続きの方法から入り、労働基準監督署の対応方法、働き方改革の実例による対策の提案を説明した。特に、「働き方改革」の残業時間の上限規制や年間5日の年次有給休暇の取得義務化は大きなテーマであり商工会にも相談が多い。セミナーではまず、制度の説明をした後に、まずは労働時間の適正な把握を行うことをアドバイスした。具体的には物を探す行為自体でも労働時間は意外と費やしていること、残業が多い従業員、部署はなぜそうなっているのかを分析することなど。併せて労働時間削減に取り組んでいる具体的事例を挙げ、自社内で見なおすようにアドバイスし、参加者にも好評を得た。その結果、セミナー参加後、アドバイス通り自社の労働時間を見つめ直す作業から入り、企業全体で残業時間削減に取り組んでいる事業所がある。</p>							
		指標	労務管理の見直しに役立つと思った事業者の割合						
		数値目標	70	実績数値	84	目標達成度	120.0%		
	成果の代表事例	人手不足で求人を出しても応募が来ない。最近の求人条件として残業時間が少ない企業が選ばれる傾向があるため、セミナーで学んだ労働時間全般を見直し会社全体で残業時間削減に取り組んでいる。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加企業のアンケートを見ると満足度は高く、また受講者は多かった。これは働き方改革など最近の労務関係は毎年変わっている中で問題点、変更点を講師がわかりやすく説明できたからだと思う。受講者より来年度以降の希望として、「同一賃金、同一労働」のテーマを希望する声が多かった。これは2020年4月より法律が施行されるためと思われる。中小企業はその1年後のため、ニーズは高いと思われるため検討したい。							

摂津市商工会

事業名		外国人雇用セミナー														
想定する実施期間		31 年度～ 31 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること														
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	中小企業、零細企業の従業員の採用活動においては応募者が少ないので、人手不足に陥っている企業が多く、外国人の採用・雇用についての問い合わせが多くある。また、国は、今後、外国人労働者の受け入れを拡大しようとしている。だが、中小零細企業の事業主や人事担当者は、外国人を雇うことについての知識がない。そこで、このセミナーをすることにより、外国人雇い入れについての知識を得てもらい、実際に外国人を雇ってもらうことができ、人手不足を解消してもらうことを目的とする。														
	支援する対象 (業種・事業所数等)	中小零細企業の事業主、人事担当者他														
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>日時：令和元年6月17日(月) 14:00～16:00 場所：エルおおさか南館4階 会議室A 講師：鈴木 睦美氏 (行政書士・キャリアコンサルタント) 内容：テーマ「人手不足で困っている中小企業経営者に聴いて欲しい!～外国人労働者を雇う際の基礎知識と注意事項～」 このセミナーは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「在留資格」を理解する～働ける資格、働けない資格 ●外国人労働者を受け入れるための手続き ●大卒エンジニア等の受け入れについて (在留資格「技術・人文知識・国際業務」) ●留学生のアルバイトについて ●雇用後に事業者が行わなければならないこと ●起こりやすいトラブル～回避するにはどうする? <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td>(a)府施策連携 労働関係12、雇用・労働啓発セミナー事業</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td>(b)広域連携「四條畷市商工会」と「摂津市商工会」で連携をとる。講師については、摂津で選定する。会場は大阪市内で行なう。案内等は、四條畷と摂津で協力してPRを行なう。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>カルテ化 0件(セミナー後、相談が3件ほどあったがカルテ化に至らなかった。)</td> </tr> </table>							①府施策連携	(a)府施策連携 労働関係12、雇用・労働啓発セミナー事業	②広域連携	(b)広域連携「四條畷市商工会」と「摂津市商工会」で連携をとる。講師については、摂津で選定する。会場は大阪市内で行なう。案内等は、四條畷と摂津で協力してPRを行なう。	③市町村連携		④相談相乗	カルテ化 0件(セミナー後、相談が3件ほどあったがカルテ化に至らなかった。)
	①府施策連携	(a)府施策連携 労働関係12、雇用・労働啓発セミナー事業														
	②広域連携	(b)広域連携「四條畷市商工会」と「摂津市商工会」で連携をとる。講師については、摂津で選定する。会場は大阪市内で行なう。案内等は、四條畷と摂津で協力してPRを行なう。														
③市町村連携																
④相談相乗	カルテ化 0件(セミナー後、相談が3件ほどあったがカルテ化に至らなかった。)															
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	36.5	支援実績率	121.7%	満足度	91.9								
事業の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	このセミナーを受講することにより外国人雇用について基本的なことを理解できるようになる。その結果、外国人の人材を獲得することにより、人材を活用でき、業績UPにつながります。														
		指標	外国人の雇用について理解できた事業者の割合													
		数値目標	70	実績数値	87.0	目標達成度	124.3%									
	成果の代表事例	セミナーを通じて、外国人雇用について理解できたため、正社員雇用を前向きに検討していた														
	その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度										
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	応募者が多数のため、1事業所1名に絞ることになったので、大阪市内に良い会場があれば、大きい会場で開催できるように取り組みたい														

摂津市商工会

事業名		三市一町合同就職面接会																																							
想定する実施期間		平成23 年度～ 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪府の平成30年10月の有効求人倍率は1.82と全国(1.62)の中でもとりわけ高い。しかし、完全失業率は3.4%(同年7月～9月)と全国値2.5%に比べると高い値となっている(大阪労働局及び大阪府調べ)。そのような中、地元の中小零細企業にとっては単独で求人を募集しても有能な人材の確保は難しく実際に相談も多い。そのような両者を結び付ける機会を三市一町の自治体および会議所・商工会が連携するによって提供し、当地域の中小零細企業の雇用確保と求職者の雇用促進を図ることを目的とする。																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、35社程の中小企業及び求職者100名																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>■開催日：令和2年1月24日(金) ■時間：13:00～16:00 ■会場：摂津市立コミュニティプラザ ■参加企業：26社 ■来場者数：76名(面接応募総数84名) ■内容： 合同就職面接会、福祉のお仕事相談、中高年齢者就労相談、シルバー人材センター相談、雇用保険・年金相談、セブナイレブンシニア向けお仕事説明会、近畿財務局出前講座</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">北大阪地域労働ネットワークの関係機関と連携をとり、合同就職面接会の広報・運営を行った。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7">4団体が主に求人企業の募集を行い、当事業の告知をすることにより、中小企業が通常カバーできない地域の人材発掘や採用活動を行うことが出来た。また、当日は4団体担当者が協力し運営した。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7"></td> </tr> </table>								①府施策連携	北大阪地域労働ネットワークの関係機関と連携をとり、合同就職面接会の広報・運営を行った。							②広域連携	4団体が主に求人企業の募集を行い、当事業の告知をすることにより、中小企業が通常カバーできない地域の人材発掘や採用活動を行うことが出来た。また、当日は4団体担当者が協力し運営した。							③市町村連携								④相談相乗							
	①府施策連携	北大阪地域労働ネットワークの関係機関と連携をとり、合同就職面接会の広報・運営を行った。																																							
	②広域連携	4団体が主に求人企業の募集を行い、当事業の告知をすることにより、中小企業が通常カバーできない地域の人材発掘や採用活動を行うことが出来た。また、当日は4団体担当者が協力し運営した。																																							
③市町村連携																																									
④相談相乗																																									
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	35	支援企業数(実績)	26	支援実績率	74.3%	満足度	73.8%																																	
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>摂津市・高槻市・茨木市・島本町の4自治体と茨木商工会議所・高槻商工会議所・摂津市商工会・島本町商工会の4団体による共催で実施した。商工会議所・商工会が参加企業の募集を行った結果、参加申込は52社であった。</p> <p>厳しい雇用情勢の中、1社でも多くの中小企業等が参加して頂きたく計画したが、会場のキャパの問題もあり、泣く泣く28社にはお断りさせて頂いた。(2社、面接会前日に急遽不参加となり、参加企業は26社になりました)</p> <p>当日の来場者総数76名、面接者数は84名、福祉のお仕事相談2名、中高年齢者就労支援相談6名、シルバー人材センター相談3名、雇用保険・年金相談4名、セブナイレブンシニア向けお仕事説明会4名、近畿財務局出前講座5名。</p> <p>満足度については、企業アンケート集計から、面接者が多い企業は概ね満足度が高い傾向が見られた。すなわち、全体的には、「満足」3社、「やや満足」10社、「普通」13社、「やや不満」1社、「不満」1社であった。</p> <table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td colspan="7">参加企業のうち採用に至った企業数</td> </tr> <tr> <td>数値目標</td> <td>10</td> <td>実績数値</td> <td>5</td> <td>目標達成度</td> <td colspan="3">50.0%</td> </tr> </table>								指標	参加企業のうち採用に至った企業数							数値目標	10	実績数値	5	目標達成度	50.0%																			
指標	参加企業のうち採用に至った企業数																																								
数値目標	10	実績数値	5	目標達成度	50.0%																																				
成果の代表事例	面接を行った企業数は24社であった。結果は、採用企業数5社、採用人数は9名であった。その中でも(株)Oは、3名採用するなど当事業を大いに活用頂いた。																																								
その他目標値の実績	目標値(計画)	100	目標値(実績)	76	目標達成度	76.0%																																			
実施結果	<p>課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)</p> <p>今回新しい取組として、(株)セブナイレブン・ジャパンに協力してもらいレジ打ち体験を取り入れた。各商工会議所・商工会の広報活動等により、参加企業に関しては、当初目標以上の企業を集める事が出来た。次年度も多くの企業に参加して頂けるよう、広報活動を充実させていきたい。</p> <p>また、来場者に関しては、当初の目標値には達することが出来なかったが、昨年度とほぼ同じ来場者数を維持することが出来た。しかし、採用した企業数は5社に留まり目標達成</p>																																								